



# K.I.F.A Plaza

## 第48号

2003年(平成15年)8月4日  
 発行: 鎌ヶ谷市国際交流協会  
 〒273-0195 鎌ヶ谷市初富928-744  
 TEL 047-445-1141 (内550)  
 FAX 047-441-9400  
 http://www.kifa.gr.jp

# 「京劇へのいざない」

## 講演会 外国文化に親しむ会

6月22日梅雨の晴れ間の日曜日、東部学習センター・レインボーホールにて「京劇へのいざない」と題し、張紹成氏による講演会が開かれた。開場を待ちきれないひとたちの長い列に、京劇への関心の深さを知る思いがし、張氏の話に大いに期待するところとなった。

その巧みな日本語にみちびかれ話が始まった。歴史的には清朝の乾隆帝80歳のころに安徽省で徽劇がおこったのが最初、後に武漢の漢劇も加わり、徽漢合流となった。1840年に北京の人々に分かることばの新しい劇すなわち京劇として生まれ変わり、西太后のお気に入りだったことが発展するものになった。

男性だけで演じる役柄は「生(男役、老若)」「旦(女役)」「浄(くまどり)」「丑(道化)」があり、生涯同じ役柄を演じ通すことになっているとか。張氏は「生」でずっとやってきたがある意味で自由をもとめ、また京劇の発展のためこの日本で京劇団を起こすこととなった。

京劇の手段として「四功」と「五法」がある。すなわち「唱(歌)」「念(せりふ)」「做(しぐさ)」「打(舞)」が「四功」



山のぼり

であり、「五法」は手、眼、身、歩、頭の五つを使って演じるものである。誇張と美の世界を身体全体と化粧、衣装などをおりませ独特の方法で表していく。

二人の盗賊による暗闇の殺陣をビデオ鑑賞したが、これがとてもおもしろい。



張紹成氏

「程式」という決まった形の動作では、山、馬、舟、戸の開け閉めなどを実技指導していただいた。さいごに歌を披露して下さったが、裏声のうつくしさは妖艶ということばをおもわず使ってしまいたくなるほどきれいに澄んだ女声になっていた。

つぎの機会には是非、衣装と化粧の京劇をみたいとおもったのはここに集ったおおくのひとの感想でした。



舟の演技

# 2003年度鎌ヶ谷市国際交流協会総会開催

## Kamagaya International Friendship Association (KIFA)

総会の開会宣言



岡本会長事業報告

来賓の清水市長ご挨拶



総会会場の模様

5月18日(日)、午後1時30分から市総合福祉保健センター6階の大会議室において、本年度の総会が開催された。

戸松雅昭事務局長(市生涯学習部次長・社会教育課長)の司会のもと、議長に飯田泰己氏を選出したあと、2002年度の事業報告ならびに収支決算・特別会計収支決算などが審議され、これを承認し可決した。

引き続き2003年度の事業計画案ならびに収支予算案・特別会計収支案が審議され、これを承認し可決した。

なお、議事に先立つ挨拶の中で、岡本靖子会長は「KIFAは1988年の設立以来、今年で15年を迎える。昨年度は、延べ1,300名を超える市民の方々にKIFAの事業に参加して頂いた。国際交流は人と人、心と心の交流が原点と思っている。真の交流は異文化を理解することでもある。今年度は、特に青少年の国際交流に力を入れていきたい」と抱負を述べた。

また来賓として出席された清水聖士市長からは、「外務省時代の駐インド大使館やニューオーリンズ領事館勤務の経験からも、国際交流は国と国だけではなく、自治体と自治体、個人と個人の交流が大事なことと考えている。KIFAが通訳ボランティアやKIFAパーティを始め、様々なところで果たしている草の根交流は素晴らしい」との祝辞を頂いた。

### そねそねクラブ・ミニコンサート

総会終了後には、流山市在住の親子バンド"そねそねくらぶ"の音楽演奏を楽しんだ。ピアノは父の曾根充(SONNEY)さん、パーカッションは母の曾根あきこ(AKO)さん、トランペットは長男の麻央(MAO)くんの構成だ。ボーカルは全員がこなす。普段はライブ・イベント・コンサート・福祉施設などの慰問で生演奏をしているボランティア。お母さんのAKOさんの進行でジャズからポピュラー、ポップス、そして懐かしい日本の唄まで次々と演奏し、参加者を魅了した。



## KIFA 2003年度事業計画

### 1. 在住外国人との交流

★バスツアー・お花見&バーベキューパーティ・KIFAパーティ・料理講習会・青少年交流事業

### 2. 語学研修講座の開催

★英語会話2講座

・スペイン語会話1講座

・中国語会話1講座

・フレンドリー英会話1講座

・日本語会話1講座

・開講式および閉講式

・日本語ボランティア養成講座

・日本語ボランティア研修会

・子ども英会話

・特別学習会

・近隣市町日本語ボランティアネットワーク

・外国語に親しむ会

### 3. 講演会・イベント事業

### 4. 会報の発行

★年2回広報誌KIFA Plazaを発行する。

年2回KIFAニュースを発行する。

### 5. ホームページ事業

### 6. 海外交流事業

★姉妹都市との交流(青少年ロングステイ・成人派遣)

### 7. ホームステイ・ホームビジットの受け入れ(随時実施)

### 8. 通訳ボランティア活動の促進

★研修会の開催・通訳や翻訳活動を行なう。

### 9. 外国人ボランティア講師の派遣

### 10. 市民夏まつり事業への参加

### 11. 東葛地区国際交流協会連絡協議会および他市との交流

前記のうち本年度実施の新規事業には、「お花見&バーベキューパーティ」と「子ども英会話」があります。



## 青少年国際交流パーティで新たな出会い

去る2月16日、中央公民館4階ホールにおいて、KIFAとしては初めての、青少年層を対象とする国際交流パーティが開催された。目的は各国の若者同士の文化交流を通じて、相互理解と親善を図るというもので、企画の段階からKIFAの若手層が中心となった。



ハンガリーダンス

会は岡本KIFA会長の挨拶から始まり、テーブルごとの自己紹介、飲食に移った。

若者同士の気安さと、何人かの顔馴染が交じっていることもあって、参加者同士すぐに打ち解け、あちこちで談笑の花が咲いた。

適当なところでゲームに移ったが、賞品が出たこともあり賑やかな進行のうちに前半を終了。後半はアトラクションで、各国の歌や踊りが繰り広げられた。まずはフィリピンの方々によるバンブーダンス。軽快な音楽と

当日はあいにくの雨で参加者の減少が懸念されたが、所定の時刻には参加予定者ほぼ全員が揃い、総員60名を越す盛大なパーティとなった。

会は岡本KIFA

竹ざおのぶつかり合うリズム音が程よく調和し、見ているほうも身体が動いてきそうであった。

次いで中国の女性3人による故郷の歌、日本の小学生男女4人による民謡踊り、日本人の若者3人によるブレイクダンスが披露された。民謡では最年少の女の子の愛らしさ、ブレイクダンスでは曲芸的な体の動きが人々の視線を集めた。最後はハンガリーダンスで、そのダイナミックさに観客は拍手喝采。

交流会はこれで終了となったが、参加者の感想を聞いてみると「英語を話すチャンスがもう少しあるとよかった。でも、とても楽しかった」(女子高生3人連れ)



フィリピンのバンブーダンス



司会進行も自分達で

民謡では最年少の女の子の愛らしさ、ブレイクダンスでは曲芸的な体の動きが人々の視線を集めた。最後はハンガリーダンスで、そのダイナミックさに観客は拍手喝采。

交流会はこれで終了となったが、参加者の感想を聞いてみると「英語を話すチャンスがもう少しあるとよかった。でも、とても楽しかった」(女子高生3人連れ)「KIFAパーティ等交流協会のパーティには毎回参加している。今回も参加できてよかった」(フィリピン出身でバンブーダンスを披露した方々)等、好評であった。

## 見頃の桜の木の下でバーベキューパーティ

4月6日(日)貝柄山公園にてお花見バーベキューパーティが開催された。

前日の強い雨と風で実施が危ぶまれたが、当日は風が相変わらず強かったものの晴天に恵まれ、桜も4・5分咲きとますますの花見日和となった。

会場の広場は他の団体や個人も早々と陣取りし、宴会の準備を進めていた。

パーティ開始は11時だが、待ちきれない人たちは受付が終わるとすぐコンロに火を起こし始めた。

11時きっかりにパーティ開始。

参加人数は昼頃には60名近くになりシート席ごとに、



貝柄山公園でバーベキュー

あるいは、立ったままでそれぞれ談笑の輪が広がった。

お腹が膨れ、酔いも回ったところでゲーム・アトラクションの部に移った。



最初は輪投げである。子供たちばかりでなく、大人も童心に帰りはしゃいでいた。

次いでじゃんけん大会。熱戦の末、最後に残ったのは男性と女性。いざ勝負!

でも決勝戦は呆気なく女性の勝ちとなり鉛玉全部を獲得。めでたしめでたし!

余興も佳境に入り、ブレイクダンスに続き、バンブーダンスの若いお嬢さんによる故郷の踊りが披露された。民族衣装と、軽快な音楽に合わせたしなやかな体の動きで異国情緒を味わわせてくれた。

最後は飛び入りのダンスで、それぞれが曲にあわせて自由に踊りを楽しんだ。

風はずっと強く吹きつづけていたが、気温が上がったため寒い感じはなく、桜の花の下であつという間に楽しい時は過ぎ去っていった。



子供も大人も輪投げに熱中!

## 姉妹都市ワカタネの高校生と交流

4月10日から20日まで 姉妹都市ワカタネからトライデント高校生16名が鎌ヶ谷を訪れました。

ホストファミリー宅にホームステイしながら、都内（築地市場）見学、ディズニーランド、市内学校めぐり、パーティなどたくさんの行事に参加しました。通訳ボランティアとして高校生に同行した会員からニュージーランド・ワカタネの若者たちとの楽しいおもいでがよせられました。

### ニュージーランドの若者達を迎えて楽しい歓迎会を開催

4月18日、姉妹都市ワカタネからの訪問者の歓迎会が行われた。姉妹都市委員会の作業部会が彼らの滞在中、色々な側面で協力したが、KIFAは通訳ボランティアの派遣、そしてこの歓迎会の準備を担当することになった。

当日は市長はじめホストファミリーなど、関係者ら約130名が市総合福祉保健センターの大会議室に集った。朝からの学校訪問、文化体験交流、そして歓迎会と長い1日だったが、ワカタネの高校生はニュージーランド国歌の合唱、マオリ文化の披露でこちらの歓迎に答えてくれた。

限られた時間の中ではあったが、出会いを楽しみ交流する様は、国際交流といっても、基本は人と人の交流で、その交流につながり、線となっていることを感じさせるものであった。

緑の下力持ちではないが、目に見えないところで、この人と人の交流を支えているKIFAのボランティア活動は、ボランティアたちの誇りで保たれているように思えた。ご協力頂いた皆様、お疲れ様でした。

### ディズニーランドへ



“Let's try again!” “I'm sorry. I'll be waiting here.” さほど若くない私にはそう何度もお付き合いできずつい…ニュージーランドの高校生は本当にジェットコースターが好きです。

ディズニーランドへ着くまで、さーて、どの乗り物から勧めようか？ どんな順序で回ろうか？ と思案していたのですが、さすがですね、どういう順番で、どのアトラクションに乗るか、インターネットでちゃんと検索済み。ほんと便利な世の中になりました。最初はマイクロアドベンチャー。足元をねずみが走り抜けるゾクゾクする感覚を残しつつ、スペースマウンテンへ。それからは日本の若者にも大人気のジェットコースター類に、歓声を上げながら何度も乗り込んでいました。途中くまのプーさんのかわいい容器に入ったハニーコーンを見つけると、早速購入。お代わりを買うほどの食欲にただびっくり！

ティーカップはニュージーランドでもお馴染みらしく、少なくとも4回は乗ったようです。しかもお互いが競うように、すごいスピードでカップを回すものですからみているほうが目をまわしそう…さすがに女の子の何人かは途中でgive up。三半規管に自信のない私は最初から遠慮申し上げました。

お陰様で天候にも恵まれ、さほど混雑もなく、お気に入りのスプラッシュマウンテンでの記念写真をお土産に、心残りながら鎌ヶ谷への帰途につきました。途中、バスのタイヤの空気が抜け、大慌てするというハプニングもお土産話のひとつでしょうか？ (N. S.)

### 北部小学校訪問

4月15日、北部小を訪れ大歓迎をうけました。体育館でセレモニー。教室にわかれて子どもたちと給食を食べました。5年生の学級では英語を使つてのフルーツバスケット・震源地ゲームなどトライデントハイスクールの生徒たちも満面の笑みを浮かべてとても楽しんでいました。ことばは通じなくてもゲームをしているうちに通じないことなんて何の壁にもならず、負けないように皆一生懸命です。わたしも思わず若返って一緒にゲームを楽しんでしまいました。

最後に体育館で太鼓演奏があり打たせてもらえることになりました。全員が打つてみたいと手を挙げ、初めての体験にワクワクしながら「さあ、打つぞ！」といった表情でばちをにぎります。ところが実際打つてみるとなかなかついていけません。最初は一度も打てずに終わってしまう生徒もいました。わたしたち通訳も“right” “left”と必死に声をかけますが、とてもとても間に合いません。指導をして下さっているほうをさして「マネをして!!」というのが精一杯です。控え室に戻ると引率の先生が「どうだった？」と生徒たちにたずねると“Great”のひとこと。わたしたちもこのひとことを聞いて大満足です。

わたしの娘もニュージーランドでワカタネの方々とこんな一日を過ごしてきたのだらうと思いをはせながら、帰路につきました。(M. H.)



## 若くてダイナミックな国〜コロンビア

パトリシア岡田

Hola amigos Buenas Tardes

オラ アミーゴス ブエナス タルデス 皆さんこんにちは

初めまして わたしは パトリシア 岡田と申します。今年からKIFAのスペイン語講座の講師となりました。よろしくお願いします。

わたしのふるさとは、南米コロンビアの首都サンタフェ・デ・ボゴタです。日本に来て25年になります。日本人の夫と結婚して19歳の息子がおります。踊りが大好きで南米の踊りなら何でも好きです。サルサ、フォルクローレ、メレンゲなど南米には楽しい踊りがたくさんありますよ。

今日は皆さんに私の生まれた国コロンビアの紹介をさせていただきます。

コロンビアは南米の一番北にあります。二つの海には含まれています。北はカリブ海、南西は太平洋です。お隣の国は、北はヴェネゼイラ、南はエクアドル、ペルー、ブラジル、西にパナマがあります。

国の面積は114万平方キロで日本の3倍強の広さです。人口は3940万人で、その74%が都市部に集中しています。首都はサンタフェ・デ・ボゴタで640万人が住んでいます。ボゴタはコロンビアの中央山岳地帯のアンデス地方にあり、伝統と文化の美しい都市です。

初めてこの町を訪れる旅行者には黄金博物館と国立博物館は見逃せません。言語はスペイン語です。国花は蘭ですがカーネーション栽培も盛んです。特産品はコーヒー、石油、エメラルド、金、石炭、ニッケルやバナナを始めとする彩り豊かなフルーツ、繊維・衣料品、海産物など内容豊富です。

音楽の話をしましょう。

ラ・クンビア 北部海岸地方の踊りでアフリカから奴隷として連れてこられた黒人から生まれた踊りです。当時のスペイン女性の服装をコピーした衣装でエレガントに踊ります。フォルクローレ・インテリオリ バンプコ山岳地方の踊りでボンチョと伝統の帽子で踊る素朴で田舎っぽい味わいです。お国料理はスペイン風で、辛くはありません。海岸地方は魚料理です。それとココナツ



パトリシア岡田さん



コロンビア及び故郷の町

ご飯が有名です。山岳地方は牛肉とジャガイモの料理です。ジャガイモは10種類ぐらいあります。豆も種類が多くおいしいです。

以上駆け足でコロンビアをご紹介しましたが、この国は人口の35%が18歳未満の若くてダイナミックな国で、みんな音楽が好き、スポーツはサッカー、自転車競技を楽しみ、伝統的なお祭りが大好きです。

ぜひコロンビアにお出てください。



踊りの衣装をつけた娘たち

【飲み物】ノンアルコール コーヒーとアグア・デ・パネイア（黒砂糖のお茶でレモンを絞って飲む）

アルコール マサト 米の酒（白い酒） チチャ とうもろこしが原料 山岳地方と田舎で飲まれる強い酒  
アグアルディエンテ さとうきびから作る30度～40度の透明な酒 ラム 海岸地方の酒

## 2003年度語学講座合同開講式

### ～オリエンテーションも同時開催～

5月25日（日）、市総合福祉保健センター6階大会議室において、恒例の語学研修講座合同開講式が行われた。英語2講座・スペイン語・中国語に加え、60歳以上の年配者を対象とするフレンドリー英会話の受講生など120名を超える人たちが参加した。

KIFAの語学講座は、フレンドリー英会話を除き全て年間を通じて実施されている。

ネイティブの講師による丁寧な指導や講座担当のボランティアの方々に支えられて、受講者の皆さんは楽しく活き活きと外国語を学んでいる。今年も定員を上回る応募者があったため、講座によっては多くの応募者が受講できない結果となった。

岡本靖子会長からは、「抽選で漏れた方がたくさんおられる。その人達の方も頑張してほしい」とのメッセージがあった。そのあと講座毎に分かれ、最初の授業でもあるオリエンテーションへと移行した。各講師の自己紹介をスタートに、広い会議室の中いっばいに様々な言語が飛び交う最初の授業が賑やかに始まった。

この先一年間、途中脱落することなく授業に出席され、一人でも多くの皆勤賞受賞者が出てほしいものである。



参加した受講生の方々



もっと大きな声で！ 間違いを気にしないで！

## 古都鎌倉バスツアー参加で国際交流体験

### ～梅雨明けを前に紫陽花に彩られた鎌倉を散策～

#### KIFA鎌倉バスツアーの一日

小雨が降ったりやんだりという心もとないお天気ながら、7月6日（日）午前7時半前から、市役所正面玄関にはほとんどの参加者が勢ぞろいしていた。

前夜の大雨の雨に、お天気については半ば諦め気分であったであろうにも拘わらず、参加者には1名の欠席者もなかった。当日の参加者は45名で、その内外国人参加者は14名（スリランカ、バングラディッシュ、中国など）と一般市民の方及びKIFA会員であった。

バスは定刻5分前に市役所前を鎌倉に向け出発し、午前10時過ぎには建長寺の駐車場に到着した。

1253年に北条時頼が創建した鎌倉五山第一位の建長寺境内はあちこち改装中で、立ち入りができない場所があったのは残念であった。引き続き鶴岡八幡宮を訪れたときには雨はほぼ上がり、人出が目立ち始めた。ここも残念ながら本殿が改装中であった。

長谷寺への道路は渋滞が始まり駐車場の確保ができなかったため、高德院の近くのバス停で下車し、長谷寺まで徒歩で移動し、長谷寺内の見晴し台で昼食にした。美しい相模湾への眺望は諦めざるを得なかったが、手作り弁当のおかずを交換し合ったり、お喋りをしたり、しばし和やかな時を過ごした。長谷寺の紫陽花はすでに盛りを少し過ぎていた。

長谷寺から高德院へ徒歩で戻り、建長4年（1252年）に鑄造された金剛大仏に参詣する。境内には大仏を詠んだ与謝野晶子の歌碑もあった。

駐車場所が確保できなかったため、高德院の近くの市営バスの駐車場で午後3時にバスと待ち合わせをし、一同急いでバスに乗り込み鎌倉を出発した。皆大変名残惜げであった。せめて土産物屋に立ち寄る時間を設けるべきであったと悔やまれた。

帰路の車中ではゲームに興じて、大変賑やかであった。スムーズな車の流れは花輪のインターまでで、船橋・我孫子線は渋滞で時間がかかった。しかし車中はカラオケオンパレードであり苦にはならなかった。市役所到着は5時半過ぎ、一同解散したのは6時頃であった。お天気がまずまずであったのが、何よりの幸運であった。

(K. T)



長谷寺境内にて



鎌倉の大仏

## Notice

### 市民夏まつり

8月23日(土)12時より  
貝柄山公園にて市民夏まつりがひらかれます。北入り口近くのKIFAブースにぜひおいでください。  
小さな国際交流がここからはじまります。

### KIFAパーティ 2003開催日決定!

11月23日(日)  
市総合福祉保健センター6階  
今からどうぞお楽しみに。

### スマイリーキッズ

(KIFA子ども英会話)  
秋から小学生のための英会話がはじまります。  
ユニークな企画を検討中、子どもたち、集まれ!

### 映画会

12月7日(日)  
三橋記念館視聴覚ホールにて  
「宗家の三姉妹」を上映する予定です。

## We did it

### 青少年ワカタネ・ロングステイ派遣

昨年に引き続き今年も青少年ワカタネ・ロングステイ派遣を実施します。

25歳以下の市内在住・在学の高校生または大学生を対象に市広報で募集し、4月26日の選考会の結果下記3名の派遣が決まりました。

・石丸歩君・植松恵子さん・中村優美さん(全員高校一年生)

派遣者3名は7月19日(土)成田を出発し、ニュージーランド・ワカタネのホストファミリーの家庭に4週間滞在し、8月14日に帰国の予定です。ホームステイの期間中はワカタネ高校に通学します。

ホストファミリーとの生活、同年代の現地の若者との交流は彼ら3人に貴重な体験となることでしょう。

### 日本語ボランティア養成講座

5月17日から8月2日まで12回の日本語ボランティア養成講座がまなびいプラザで開講しています。

講師は松本・品川両先生、31名の参加申し込みがありました。

受講生Iさんは「韓国にいる息子が日本語をおしえてといわれたことと、いつか外国で役に立つかもという気持ちではじめたが、文法のおもしろさを知り改めて日本語の難しさにも気がついた」と語っています。



松本先生(左)、品川先生(右)

### 訃報

石関 澄子さん 7月16日ご逝去  
元理事(元交流部会長)  
心よりご冥福をお祈りいたします。

### 成人派遣

6月30日から7月7日までの8日間、ニュージーランド・ワカタネを6人のメンバーが訪問しました。

ワカタネとの姉妹都市提携5周年を記念して造られていた日本庭園の竣工式が7月4日に行われ、KIFAは資金援助をするとともにその式典に参加する計画をしました。

SARS(新型肺炎)の流行で申し込みが少なく中止も考えられたが、今回はワカタネカマガヤガーデンのオープン参加という大きな目的があったので予定通り実施された。



BUILT WITH A GENEROUS  
DONATION FROM  
K.I.F.A.  
KAMAGAYA INTERNATIONAL  
FRIENDSHIP ASSOCIATION

ガーデン内の  
KIFA記念プレート

### 東葛地区国際交流協会

#### 日本語ボランティアネットワーク会議

6月7日流山市南流山センターで、日本語ボランティアネットワーク会議がひらかれました。6市1町の日本語ボランティアが集まり、各地の研修会や見学自由の開かれた教室作り、外国人児童生徒のための学校派遣活動、文化交流を通して学ぶサロン活動などの情報交換をしました。

来日直後の全く日本語を話せない人への対応、漢字習得の苦勞などと共に各グループの自慢話もとびだし非常に有意義な会議でした。その中で会場確保に苦勞しているとの話が多く出ましたが、市のご協力で年間の会場が確保されているわたしたちはとても恵まれていることがわかり、感謝の念を深くしました。

### 編集・後記

交流部員・研修部員を兼ねた広報委員会メンバーは、それぞれが梅雨のうっとうしさにも負けず、まさしく孤軍奮闘の取材・編集をこなし、よりよい広報紙をめざして活動中。ご意見・ご感想をぜひお寄せください。